

(3) 2012年(平成24年)12月3日(月曜日)

大夕協が労務研修会

大阪タクシー協会は11月26日、大阪市内のホテルで労務研修会を開催した。近年労働災害で企業



への理解を深めるため、それぞれの専門家を招き、理解を深めた。

メンタルヘルスと雇用問題

企業の責任と対策学

冒頭、藤原悟朗会長(写真)は「企業にとってうつ病などを中心としたメンタルヘルスの問題

が喫緊の課題。人の命を預かるタクシー業界としても違う『部下』『同僚』をテーマに、NP

い。また定時制乗務員や高齢乗務員にかかわる法

の発生状況やその原因分析、企業責任を説明しながらメンタルヘルス対策の必要性を説いた。自社

高年齢乗務員にかかわる法
ワークの作本貞子理事が講演。引き続き「雇用の規制強化について」をテーマに、社会保険労務士法人ミッシェンの代表社員、吉本俊樹氏が講演した。

作本理事は、労働災害の発生状況やその原因分析、企業責任を説明しながらメンタルヘルス対策の必要性を説いた。自社

は、外部のサポート機関の活用もすすめた。吉本氏は、今年に入って雇用に関する法改正が5つ行われ、タクシー業界の雇用コスト負担増要因となっている点や労務管理が困難な時代になることを説明する一方で、時代を先取りする労務管理、経営が重要と提案した。